

2004年タイ家族旅行

右城 猛

まえがき

2004年9月12日～16日にかけて、タイを旅行した。家族で海外旅行するのは、2002年のバリ島、2003年のイタリアに続いて3度目。

来年には和恵が大学を卒業して就職する。家族4人が揃って海外旅行をできるのは、今年が最後になるかも知れない、何としても旅行をしなくてはという思いがあった。

バンコクのルンピニー公園の直ぐ前にあるホテル デュシタニに3泊して、バンコクとその周辺地域を観光してきた。

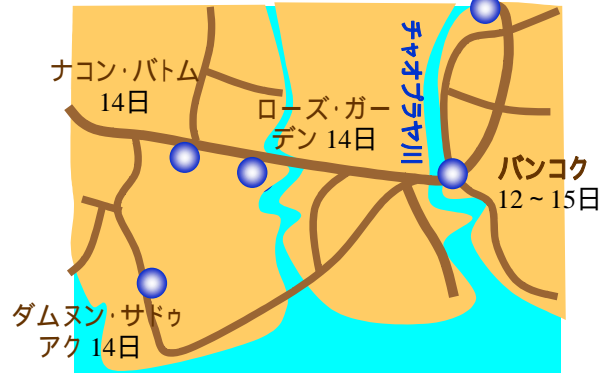
旅行の日程

9月12日(日)	高知空港 8:40 発 伊丹空港 伊丹空港 (リムジンバス) 関西空港 関西空港 11:45 発 バンコク 15:35 着 (所要時間 5時間 50分) デュシタニホテル泊
9月13日(月)	バンコク市内とアユタヤ観光 暁寺院, エメラルド寺院, パンパイヤ宮殿, アユタヤ デュシタニホテル泊
9月14日(火)	水上マーケット, ナコン・パトム, ローズ・ガーデン デュシタニホテル泊
9月15日(水)	バンコク市内観光 18時ホテルをチェックアウト
9月16日(木)	バンコク空港 0:00 発 関西空港 7:30 着 (所要時間 5時間 30分) 関西空港 8:30 発 伊丹空港 伊丹空港 10:45 発 高知空港 11:30 着

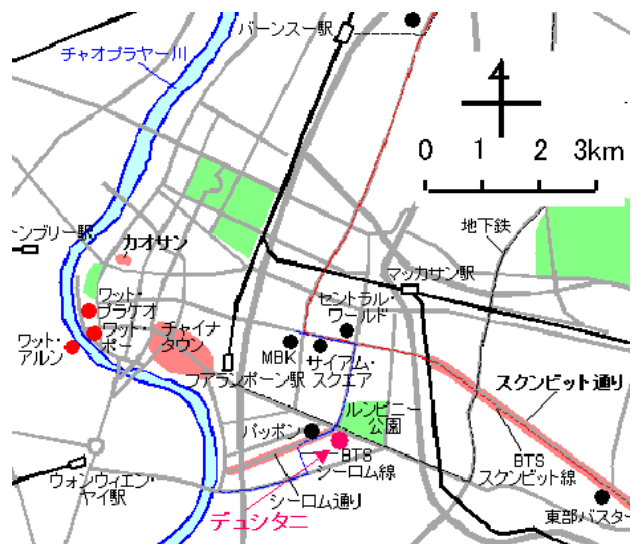


関西国際空港からバンコク国際空港へ

アユタヤ 13日



タイの観光地



バンコクの観光地

バンコクとホテル・デュシタニ

タイ王国の国土面積は日本の1.3倍の51万km²、人口は日本の約1/2の6800万人である。

首都バンコクの人口は635万人。タイの約1割を占めている。日本との時差は2時間、通貨はバーツ。為替レートは、1バーツが3円である。

3日間泊まったホテルは、地下鉄シーロム駅のすぐ前に位置したデュシタニ バンコク (Dusit Thani Bangkok)。道路を挟んで対面には、ルンピニー公園がある。



バンコク市内観光

ワット・アルン(暁の寺院)

バンコクの朝夕の通勤時間帯は大渋滞になる。渋滞を避けるため7時30分にホテルを出発した。

バンコクの西側をチャオプラヤ川が南流している。ワット・アルンはチャオプラヤ川沿いの右岸にたたずむ寺院。タイ語でアルンは暁、ワットは寺院の意味。三島由紀夫の小説『暁の寺』の舞台になった所。ワット・アルンには水上バスで渡る。



水上バスから見たワット・アルン(暁の寺院)。7時42分でまだ薄暗い。



寺院に入ると、タイの民族衣装を貸して商売をしている店があった。民族衣装を身に付けてタイ人になった気分。



家族で民族衣装を着て記念撮影。ワット・アルンを代表する建物は、トウモロコシのような形をした高さは75mの大仏塔。塔の表面は陶器の破片で飾られている。塔頂は生殖のシンボルであるリング(男根)となっている。



仏塔を支えるのはヒンドウの神ハヌマーン



チャオプラヤ川の左岸の棧橋



チャオプラヤ川の左岸には市場がある

ワット・ポー(涅槃寺)

ワット・ポーは、バンコクで最大の最も古くからある王室寺院。黄金に輝く巨大な涅槃仏があり、涅槃寺と呼ばれることもある。



ワット・ポーの涅槃仏



涅槃仏の顔面



ワット・ポーの敷地内にある仏塔は、王や王族の墓。

ワット・プラケオ

ワット・プラケオはタイにあるエメラルド仏を安置した寺院。



ワット・プラケオ



ワット・プラケオ



タイ王宮チャクリー宮殿



タイ王宮



寺院の中にはエメラルドで作られたブツダが祀られている。



バンコク市内を走る高速道路



立体になった高速道路の橋桁の側面には、FOR THE THAI-JAPANESE FRIENDSHIP(タイと日本の友情のために)と書かれている。日本のODAで工事をしたのだろうか。



コンクリート造の立体横断歩道橋。階段のステップが、梁の側面に取り付けられている構造になっている。日本では見られない構造である。



昼食はタイスキ(タイ式しゃぶしゃぶ)。肉、魚介類、野菜などを鶏がらスープで煮込み、ピリ辛のタレにつけて食べる鍋料理。あまり美味しいとは思わなかった。



タイスキを食べた付近の様子。「泰平」、「カラオケスナックよしの」といった日本人のための飲み屋が目立つ。

バンパイン宮殿

バンパイン宮殿はチャオプラヤ川の中流、バンコクの約60km北に位置している。

1632年にアユタヤ朝の第26代プラサート・トン王によって建造された夏の離宮。それを19世紀に再建された。現在でもここは王室の所有であるが、一般に公開されている。



池に浮かぶタイ式建築のプラ・ティナン・アイサワン・ティバヤ。別名は「水上パレス」



天文台から眺めたバンパイン宮殿・明天殿



象の形に刈り込んだ植木

アユタヤ歴史公園

アユタヤ歴史公園は、アユタヤにあるアユタヤ王朝の遺跡群。周辺の遺跡とともにユネスコの世界遺産に登録されている。

バンコクの北、約 80km に位置している。車で 1.5 時間ほどの距離。



ポルトガル様式の天文台



アユタヤの地図



バンパイン宮殿・明天殿



ワット・プラ・シー・サンペットの敷地の横にある本堂。ウィハーン・プラ・モンコン・ボピット。



本堂内にある黄金の仏像



ワット・プラ・シー・サンペットの仏塔。スリランカ様式のチェディが横に3つ並んでいる。



昔は伐採した材木を運ぶ仕事で活躍していた象が、アユタヤでは観光客を乗せて歩くのが仕事になっている。座椅子や日傘など古式豊にドレスアップされている象に乗って観光する。



ワット・ロカヤ・スター。中期アユタヤ様式とされる全長 28m の涅槃仏。現在の寝仏は 1956 年に復元されたもの。ワットと名前が付いているが、ビルマ(現在のミャンマー)軍によって破壊されて寺院はない。サフラン色の袈裟をまとった高さ 5m、長さ 29 の涅槃仏が悠然と横たわっている。



ワット・マハータートの仏塔



ワット・マハータートにある菩提樹の根に挟まった仏像の顔



ビルマ軍によって破壊されたワット・プラ・マハータートの遺跡。頭部を落とされてしまった仏像がたくさん見られる。



レストランで夕食を済ませ、暗くなってから再び遺跡を見に来る。ライトアップされた遺跡を見るため多くの観光客で賑わっていた。

ダムヌン・サドゥアック水上マーケット
タイにはいくつかの水上マーケットがあるが、最も観光客に人気があるのが、ダムヌン・サドゥアック水上マーケット。バンコク市内から西南の方角に約 80km。車で 1 時間半はかかる。



ココナッツ林やジャングルの間の運河をボートに乗って走る。運河の周りには、民家もたくさん見られる。ボートに乗って 20 分くらいで目的地のダムヌン・サドゥアック水上マーケットに到着する。

水上マーケットでは、野菜や肉、果物、お菓子、工芸品などを舟に積んで売っている。ここには、土産物屋、食堂、休憩所なども揃っており、水上マーケットの様子を眺めながら買い物や食事を楽しむことができる。

ナコン・パトム

ナコン・パトムは、バンコクから西へ約 60km，車で 1 時間くらいのところにある。タイに最初に仏教が伝来した地であり，タイ仏教の「聖地」と言われている。タイ語でナコンは「町」，パトムは「最初の」を意味する。



世界最大の仏塔プラ・パトム・チェディ
金色のタイルに覆われた釣鐘型のチェディ(仏塔)は、高さ 120m，直径 65m，周囲の台座 205m と巨大で、町のどこからも良く見える。



タイ国民の 9 割以上が仏教徒。スリランカ系の上座部仏教(小乗仏教)で、僧侶と俗人の区別が厳格である。タイには仏教寺院が約 3.3 万あり、僧侶は約 25 万人いる。男子は一生の内一度は出家し僧となって修行をする。約 3 ヶ月の修行を終えると、もとの職場へ戻っていく。出家のための休職は役所でも会社でも全て許される。この修行を終えて、やっと一人前の男として認められる。

ローズ・ガーデン

外国人観光客にタイの伝統文化や風俗を伝えるために造られたアミューズメントパークで、伝統芸能タイビレッジ・カルチャーショーを見ることができる。



バンブー・ダンス



象の曲芸。有料で象に乗ることもできたが体験しなかった。

バンコク最後の日



15日の早朝,ホテルの近くのルンピニー公園を散策する。大勢の華僑が太極拳や太極剣(たいきょくつるぎ)をしていた。この公園は華僑に占拠されている感じがした。華僑にコリアン?と質問されたので,ノー,ジャパニーズと答えると,軽蔑したような顔をされた。



ホテル近くのシーロム通りのシーロム・コンプレックスでショッピング。昼食はシーロム通りのイタリアレストラン PolaPoia でスパゲティ。

シーロム通りを散策してホテルに帰り,出発する 18 時までホテルで過ごす。和恵と怜佳はホテル内のプールで水泳。

出発前にジャパニーズレストラン Zen で寿司を食べる。



ホテル・デュシタニのプールで楽しむ



チェックアウトの 18 時までホテルデュシタニで過ごす。